

カリキュラム研修会 ～年間指導計画の運用と 体育経営について～

令和7年1月6日

徳島県教育委員会

体育健康安全課 指導主事 森永 達也

今日の講義内容

- ・体育科年間指導計画
- ・学校における体育経営

～体育主任としての心がけ～

- ・領域別の系統性について

～学習指導要領より～

教育課程とは

学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容を子供の心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した**学校の教育計画**であり、その**編成主体は各学校**である。

教育課程

第33条 小学校の教育課程に関する事項は、第29条及び第30条の規定に従い、文部科学大臣が定める。

第21条 義務教育として行われる普通教育は、教育基本法(平成18年法律第120号)第5条第2項に規定する目的を実現するため、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

第29条 小学校は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とする。

第30条 小学校における教育は、前条に規定する目的を実現するために必要な程度において第21条各号に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。②前項の場合においては、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。

学校教育法第33条

教育課程

小学校の教育課程は、国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、**体育**及び外国語の各教科（以下この節において「各教科」という。）、特別の教科である道徳、外国語活動、総合的な学習の時間並びに特別活動によつて編成するものとする。

教育課程

小学校（第五十二条の二第二項に規定する中学校連携型小学校及び第七十九条の九第二項に規定する中学校併設型小学校を除く。）の各学年における各教科、特別の教科である道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの**授業時数並びに各学年におけるこれらの総授業時数は、別表第一に定める授業時数を標準とする。**

学校教育法施行規則第2節教育課程第51条

体育科年間指導計画

授業時数

別表第一（第五十一条関係）

区 分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	
各教科の 授業時数	国 語	306	315	245	245	175	175
	社 会			70	90	100	105
	算 数	136	175	175	175	175	175
	理 科			90	105	105	105
	生 活	102	105				
	音 楽	68	70	60	60	50	50
	図画工作	68	70	60	60	50	50
	家 庭					60	55
	体 育	102	105	105	105	90	90
	外 国 語					70	70
特別の教科である道徳 の授業時数	34	35	35	35	35	35	
外国語活動の授業時数			35	35			
総合的な学習の時間の 授業時数			70	70	70	70	
特別活動の授業時数	34	35	35	35	35	35	
総授業時数	850	910	980	1015	1015	1015	

学校教育法施行規則第2節第51条関係(別表1)

学習指導要領との関係

(3) 学習指導要領

学校教育法第33条及び学校教育法施行規則第52条の規定に基づいて、文部科学大臣は小学校学習指導要領を告示という形式で定めている。**学校教育法施行規則第52条**が「小学校の教育課程については、この節に定めるもののほか、教育課程の基準として文部科学大臣が別に公示する**小学校学習指導要領**によるものとする」と示しているように、**学習指導要領**は、**小学校教育について一定の水準を確保するために法令に基づいて国が定めた教育課程の基準**であるので、各学校の教育課程の編成及び実施に当たっては、**これに従わなければならないものである。**

学習指導要領は「**基準性**」を有することから、学習指導要領に示している**内容**は、**全ての児童に対して確実に指導**しなければならないものである。

【総則編】小学校学習指導要領(平成29年告示)解説p15

指導計画作成に当たって留意すべき事項

(1) 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童の**主体的・対話的で深い学びの実現**を図るようにすること。その際、**体育や保健の見方・考え方**を働かせ、運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決のための活動を選んだり工夫したりする活動の充実を図ること。また、運動の楽しさや喜びを味わったり、健康の大切さを実感したりすることができるよう留意すること。

指導計画作成に当たって留意すべき事項

- (2) 一部の領域の指導に偏ることのないよう授業時数を配当すること。
- (3) 第2の第3学年及び第4学年の内容の「G保健」に配当する授業時数は、2学年間で8単位時間程度、また、第2の第5学年及び第6学年の内容の「G保健」に配当する授業時数は、2学年間で16単位時間程度とすること。
- (4) 第2の第3学年及び第4学年の内容の「G保健」並びに第5学年及び第6学年の内容の「G保健」(以下「保健」という。)については、効果的な学習が行われるよう適切な時期に、ある程度まとまった時間を配当すること。

指導計画作成に当たって留意すべき事項

(5) 低学年においては、第1章総則の第2の4の(1)を踏まえ、他教科等との関連を積極的に図り、指導の効果を高めるようにするとともに、幼稚園教育要領等に示す幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関連を考慮すること。特に、小学校入学当初においては、**生活科を中心とした合科的・関連的な指導**や、弾力的な時間割の設定を行うなどの工夫をすること。

生活科の「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」と関連付け、施設や用具の安全に気を付けて運動遊びができる

『器械・器具を使っの運動遊び』ア固定施設を使った運動遊び

指導計画作成に当たって留意すべき事項

(6) **障害のある児童など**については、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた**指導内容や指導方法の工夫**を計画的、組織的に行うこと。

★児童の困難さに応じた指導内容や指導方法を工夫

活動の場や用具、補助の仕方に配慮・・・困難さに応じた手立て

その際、**体育科の目標や内容の趣旨、学習活動のねらいを踏まえ、学習内容の変更や学習活動の代替を安易に行うことがないよう留意**

動きを細分化・適切な補助・活動の見通しをたて、表現の仕方を事前に確認

指導計画作成に当たって留意すべき事項

(7) 第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、**道徳科などとの関連を考慮**しながら、第3章特別の教科道徳の第2に示す内容について、体育科の特質に応じて適切な指導をすること。

最後まで粘り強く取り組む、気持ちのよい挨拶、仲間と協力、勝敗を受け入れる、フェアプレイ、仲間の考えや取組を理解

道徳教育の全体計画との関連

指導計画の作成と内容の取扱い

- (1) **学校や地域の実態を考慮するとともに、個々の児童の運動経験や技能の程度などに応じた指導や児童自らが運動の課題の解決を目指す活動を行えるよう工夫すること。特に、運動を苦手と感じている児童や、運動に意欲的に取り組まない児童への指導を工夫するとともに、障害のある児童などへの指導の際には、周りの児童が様々な特性を尊重するよう指導すること。**
- (2) **筋道を立てて練習や作戦について話し合うことや、身近な健康の保持増進について話し合うことなど、コミュニケーション能力や論理的な思考力の育成を促すための言語活動を積極的に行うことに留意すること。**

指導計画の作成と内容の取扱い

- (3) 第2の内容の指導に当たっては、**コンピュータ**や**情報通信ネットワーク**などの情報手段を積極的に活用し、各領域の特質に応じた学習活動を行うことができるように工夫すること。その際、情報機器の基本的な操作についても、内容に応じて取り扱うこと。
- (4) 運動領域におけるスポーツとの多様な関わり方や**保健領域**の指導については、**具体的な体験を伴う学習**を取り入れるよう工夫すること。
- (5) 第2の内容の「A体づくりの運動遊び」及び「A体づくり運動」の(1)のアについては、各学年の各領域においてもその趣旨を生かした指導ができること。

指導計画の作成と内容の取扱い

(6) 第2の内容の「D水遊び」及び「D水泳運動」の指導については、適切な水泳場の確保が困難な場合にはこれらを取り扱わないことができるが、これらの**心得については、必ず取り上げる**こと。

低学年：(準備運動や整理運動を**しっかり**行う、丁寧にシャワーを浴びる、プールサイドは走らない、プールに飛び込まない、友達とぶつからないように動く。)

中学年：(準備運動や整理運動を**正しく**行う、バディで互いを確認しながら活動する、シャワーを浴びてから**ゆっくりと水の中に入る**、プールに飛び込まない。)

高学年：(プールの底・水面などに危険物が無いかを確認したり、自己の体の調子をかためてから泳いだり、仲間の調子にも気を付ける。)

指導計画の作成と内容の取扱い

- (7) オリンピック・パラリンピックに関する指導として、フェアなプレイを大切にするなど、児童の発達の段階に応じて、各種の運動を通してスポーツの意義や価値等に触れることができるようにすること。
- (8) **集合、整頓、列の増減などの行動の仕方を身に付け**、能率的で安全な集団としての行動ができるようにするための指導については、第2の内容の「**A体づくりの運動遊び**」及び「**A体づくり運動**」をはじめ168第3章指導計画の作成と内容の取扱いとして、**各学年の各領域**(保健を除く。)において適切に行うこと。
- (9) 自然との関わりの深い雪遊び、氷上遊び、スキー、スケート、水辺活動などの指導については、学校や地域の実態に応じて積極的に行うことに留意すること。

指導計画の作成と内容の取扱い

(10) **保健**の内容のうち**運動**、**食事**、**休養及び睡眠**については、食育の観点も踏まえつつ、健康的な生活習慣の形成に結び付くよう配慮するとともに、保健を除く第3学年以上の**各領域及び学校給食に関する指導**においても関連した指導を行うようにすること。

(11) 保健の指導に当たっては、健康に関心をもてるようにし、健康に関する**課題を解決する学習活動**を取り入れるなどの指導方法の工夫を行うこと。

カリキュラムマネジメント

- 系統性を踏まえた指導内容の明確化
- 2学年ごとのまとまりで指導内容をとらえる(体づくり運動は全ての学年で)
- 施設や用具等の合理的な活用(意図的に同時期に実施)
ハードル、マット・跳び箱、運動場のライン
- 学校行事や学年行事との関わり
- 体育館や運動場使用との関わり
- 児童数や用具数の関わり

体育科年間指導計画

カリキュラムマネジメント

【教科等横断的な学習】

なわとび集会など
(児童会活動)

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
1年	休④ からだを くしのう んどろあ そび	器④ ゆうく あそび	ゲ④ たからとりあに	表④ たのし くおど ろあそ び	水④ のり もの ランド 水あそび	走④ かけっこ・リ レーあそび	器④ てつほう あそび	ゲ④ ボールなげゲーム	表④ いきものラ ンド	器④ マットあそび	器④ とびばこあそ び	走④ とびっこあそ び	休④ いろいろなうごきの ろんどろあそび	ゲ④ ボールけりゲーム	102時間		
2年	休④ 体ほく しのう んどろ あそび	器④ ゆうくあ そび	ゲ④ ボールなげゲーム	表④ たのし くおど ろあそ び	水④ ゆら ゆらあ そび	走④ かけっこ	器④ てつほう	ゲ④ ボールなげゲーム	表④ いきものラ ンド	器④ マットあそび	器④ とびばこあそ び	走④ とびっこあそ び	休④ いろいろなうごきの ろんどろあそび	ゲ④ ボールけりゲーム			
3年	休④ 体ほくし の運動	走④ かけっこ リレー	走④ 1タラップ ビー	走④ 1タラップ ビー	走④ けんご う	走④ 使った運動	走④ 1高とび	走④ 1高とび	走④ けんご う	走④ けんご う	走④ けんご う	走④ けんご う	走④ けんご う	走④ けんご う	105時間		
4年	休④ 体ほく しの運 動	走④ かけっこ リレー	走④ 高とび	ゲ④ ポートボール	水④ 水泳運動	保④ 体のあ そび・あ そび	表④ 動きをつ く・用具 を使った 運動	ゲ④ リズムダン ス	器④ キックベースボール 1キャッチバレー ボール	器④ マット運動	器④ とび箱運動	器④ 鉄ぼう運 動	走④ たんけん に行こう	走④ 小ぎハ ードル 走	休④ 動きをつ く・用具 を使った 運動	ゲ④ ボール 12ゴールサ ッカー	多様な動きをつくる運動
5年	休④ 体ほく しの運 動	走④ 走りはば とび (走り高 とび)	保④ 心の健 康	水④ 水泳運動	ポ④ フットボ ール (フットバ レーボ ール)	表④ はげしい 動きの世 界	保④ けがの 防止	走④ 動きより 走り 1ハード ル走	器④ マット運 動	器④ とび箱運 動	器④ 鉄ぼう運 動	ポ④ ブルボ ール (タグラ グビー 1ソフトバ レーボ ール)	休④ 体の動き を高め る運動	表④ 茶りだ つらじ ョ	ポ④ サッカー 1ハンド ボール	90時間	
6年	休④ 体ほく しの運 動	走④ 走り高と び (走りは ばとび)	保④ 着衣の 手洗	水④ 水泳運動	ポ④ ソフトバ レーボ ール (フットバ レーボ ール)	表④ いろいろ なスポ ーツ	保④ けがの 防止	走④ 動きよ り走り 1ハード ル走	器④ マット運 動	器④ とび箱運 動	器④ 鉄ぼう運 動	ポ④ ソフトバ レーボ ール (フットバ レーボ ール)	休④ 体の動き を高め る運動	表④ わたした ちの地球	ポ④ ミニバス ケット ボール (サッカ ー)		

特別活動と体育を教科等横断的に

多様な動きをつくる運動遊び

多様な動きをつくる運動

体の動きを高める運動

体育科年間指導計画

カリキュラムマネジメント

【教科等横断的な学習】

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
1年	体④ からだほぐし のうんどう あそび	器④ ゆうく あそび	ゲ④ たからとりおに	表④ たのし くまど らうし	水④ のり もの ランド 水あそび	走④ かけっこ・リ レーあそび	器④ てつぼう あそび	ゲ④ ボールなげゲーム	表④ いきものラ ンド	器④ マットあそび	器④ とびばこあそ び	走④ とびっこあそ び	体④ いろいろなうご きのうんどうあ そび	ゲ④ ボールけりゲーム	102時間		
2年	体④ ほぐし のうん どう あそび	器④ ゆうく あそび	ゲ④ ボールはこびおに	表④ たのし くまど らうし	水④ のり もの ランド 水あそび	走④ かけっこ・リ レーあそび	器④ てつぼう あそび	ゲ④ ボールなげゲーム	表④ いきものラ ンド	器④ マットあそび	器④ とびばこあそ び	走④ とびっこあそ び	体④ いろいろなうご きのうんどうあ そび	ゲ④ ボールけりゲーム	105時間		
3年	体⑤ ほぐし の運動	走⑤ かけっこ・ リレー	器⑤ ボールはこびおに	表⑤ たのし くまど らうし	水⑤ のり もの ランド 水あそび	走⑤ かけっこ・リ レーあそび	器⑤ てつぼう あそび	ゲ⑤ ボールなげゲーム	表⑤ いきものラ ンド	器⑤ マットあそび	器⑤ とびばこあそ び	走⑤ とびっこあそ び	体⑤ いろいろなうご きのうんどうあ そび	ゲ⑤ ボールけりゲーム	105時間		
4年	体⑤ ほぐし の運動	走⑤ かけっこ・ リレー	走⑤ 高とび	ゲ⑤ ホートボール	水⑤ 水泳運動	保⑤ 健康	体⑤ からだほぐし の運動	表⑤ いきものラ ンド	ゲ⑤ ボールなげゲーム	器⑤ マットあそび	器⑤ とびばこあそ び	走⑤ とびっこあそ び	体⑤ いろいろなうご きのうんどうあ そび	ゲ⑤ ボールけりゲーム	105時間		
5年	体⑥ ほぐし の運動	陸⑥ 走り高とび (走り高と び)	保⑥ 心の健 康	水⑥ 水泳運動	表⑥ いきものラ ンド	器⑥ マットあそび	器⑥ とびばこあそ び	走⑥ とびっこあそ び	体⑥ いろいろなうご きのうんどうあ そび	ゲ⑥ ボールなげゲーム	表⑥ いきものラ ンド	器⑥ マットあそび	器⑥ とびばこあそ び	走⑥ とびっこあそ び	体⑥ いろいろなうご きのうんどうあ そび	ゲ⑥ ボールけりゲーム	90時間
6年	体⑦ ほぐし の運動	陸⑦ 走り高とび (走り高と び)	保⑦ 病気の 予防	水⑦ 水泳運動	表⑦ いきものラ ンド	器⑦ マットあそび	器⑦ とびばこあそ び	走⑦ とびっこあそ び	体⑦ いろいろなうご きのうんどうあ そび	ゲ⑦ ボールなげゲーム	表⑦ いきものラ ンド	器⑦ マットあそび	器⑦ とびばこあそ び	走⑦ とびっこあそ び	体⑦ いろいろなうご きのうんどうあ そび	ゲ⑦ ボールけりゲーム	90時間

学級活動と保健を教科等横断的に

薬物乱用防止教室
(保健、学級活動)

病気の予防

体育科年間指導計画

カリキュラムマネジメント

【教科等横断的な学習】

運動会
(学校行事)

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	3月							
1年	休④ からだほぐし のうんどうあそび	器④ ゆうくあそび	ゲ④ たからとりおに	表④ たのしくおどろけ のりものランド	水④ 水あそび	走④ かけっこ・リレーあそび	器④ てつぼうあそび	ゲ④ ボールなげゲーム	表④ いきものランド	器④ マットあそび	器④ とびばこあそび	走④ とびっこあそび	休④ いろいろならごきのうんどうあそび	ゲ④ ボールけりゲーム	102時間	
2年	休④ 体ほぐし のうんどうあそび	器④ ゆうくあそび	ゲ④ ボールはこびおに	表④ あそびあそび	水④ 水あそび	走④ かけっこ・リレーあそび	器④ てつぼうあそび	ゲ④ ボールなげゲーム	表④ いきものランド	器④ マットあそび	器④ とびばこあそび	走④ とびっこあそび	休④ いろいろならごきのうんどうあそび	ゲ④ ボールけりゲーム	105時間	
3年	休④ 体ほぐし の運動	休④ 体ほぐし の運動	走④ 高とび	ゲ④ ポートボール	水④ 水泳運動	保④ 体のあそび・あそび	表④ リズムダンス	ゲ④ キックベースボール 「キャッチボール」	器④ かけっこ・リレー	器④ マット運動	器④ とびばこ運動	器④ あそびあそび	走④ たんけんに行こう	休④ きつく用具を使った運動	ゲ④ ラインサッカー 「ハンドボール」	105時間
4年	休④ 体ほぐし の運動	休④ あそびをつくる・用具を使った運動	走④ 高とび	ゲ④ ポートボール	水④ 水泳運動	保④ 体のあそび・あそび	表④ リズムダンス	ゲ④ キックベースボール 「キャッチボール」	器④ かけっこ・リレー	器④ マット運動	器④ とびばこ運動	器④ あそびあそび	走④ たんけんに行こう	休④ きつく用具を使った運動	ゲ④ ボール 「2ゴールサッカー」	105時間
5年	休④ 走りはばとび 「走り高とび」	陸④ 心の技術	保④ 心の技術	水④ 水泳運動	ポ④ マナーゲーム 「フラッグフットボール」	表④ はげしいあそびの世界 「ハーフェンボール」	表④ あそびあそび	保④ けがの防止	陸④ 短きより走・リレー 「ハードル走」	器④ マット運動	器④ とびばこ運動	器④ あそびあそび	走④ たんけんに行こう	休④ きつく用具を使った運動	ゲ④ ラインサッカー 「ハンドボール」	90時間
6年	休④ 走りはばとび 「走り高とび」	陸④ 走りはばとび	保④ あそびあそび	水④ 水泳運動	ポ④ ソフトボール 「ソフトボール」	表④ いろいろなるスポーツ 「ソフトボール」	表④ あそびあそび	保④ けがの防止	陸④ 短きより走・リレー 「ハードル走」	器④ マット運動	器④ とびばこ運動	器④ あそびあそび	走④ たんけんに行こう	休④ きつく用具を使った運動	ゲ④ ボール 「2ゴールサッカー」	90時間

表現遊び

学校行事と体育を教科等横断的に

走・跳の運動 かけっこ・リレー

表現運動 フォークダンス(ソーラン節)

陸上運動 短距離走・リレー

体育科年間指導計画

カリキュラムマネジメント

【施設や用具等の合理的な活用】

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
1年	休④ からだほぐしめくろんどうあそび	器④ ゆうくあそび	ゲ④ たがらとりあに	表④ たのしみものランド	水④ 水あそび	走④ かけっこ・リレーあそび	器④ てっぼうあそび	ゲ④ ボールなげゲーム	表④ いきものランド	器④ マットあそび	器④ とびばこあそび	走④ とびっこあそび	休④ いろいろならこきのうんどうあそび	ゲ④ ボールけりゲーム	102時間		
2年	休④ 体ほぐしのうんどうあそび	器④ ゆうくあそび	ゲ④ ボールはこびあに	表④ あしくあそび	水④ ゆう園地に行	走④ かけっこ・リレーあそび	器④ てっぼうあそび	ゲ④ ボールなげゲーム	表④ いきものランド	器④ マットあそび	器④ とびばこあそび	走④ とびっこあそび	休④ いろいろならこきのうんどうあそび	ゲ④ ボールけりゲーム	105時間		
3年	休④ 体ほぐしの運動	休④ 動きを用いた	<p style="color: green; text-align: center;">マット、跳び箱をすぐに運び出せるように (片付ける場所や触ってはいけない等の視覚的な掲示)</p>										105時間				
4年	休④ 体ほぐしの運動	休④ 動きをつくる・用具を使った運動	走④ 高とび	ゲ④ ポートボール	水④ 水泳運動	保④ 体の発声・発走	表④ リズムダンス	ゲ④ キックベースボール 1キヤッチバレーボール	器④ かけっこ・リレー	器④ マット運動	器④ とび箱運動	器④ 鉄ぼう運動	表④ たんけんに行こう	走④ 小型ハード走	休④ 動きをつくる・用具を使った運動	ゲ④ フライングフットボール 12ゴールサッカー	105時間
5年	休④ 走り高とび	陸④ 走り高とび	保④ 心の健康	水④ 水泳運動	ポ④ フライングフットボール (フライングフットボール)	表④ はげしい動きの世界	保④ けがの防止	陸④ 短走より走・リレー 1ハードル走	器④ マット運動	器④ とび箱運動	器④ 鉄ぼう運動	ポ④ ブルバール (タグラグビー)	休④ 体の動きを高める運動	表④ 祭りだワッショイ!	ポ④ サッカー(ハンドボール)	90時間	
6年	休④ 走り高とび	陸④ 走り高とび	保④ 病気の予防	水④ 水泳運動	ポ④ ソフトバレーボール (フライングフットボール)	表④ いろいろなスポーツ	保④ 病気の予防	陸④ 短走より走・リレー	陸④ ハードル走	器④ マット運動	器④ とび箱運動	器④ 鉄ぼう運動	ポ④ フライングフットボール (ハンドボール)	休④ 体の動きを高める運動	表④ わたしたちの地球	ポ④ ミニバスケットボール(サッカー)	90時間

運動会と体育の関係

★運動会で踊るダンスを体育でとっていいのか？

△扱い方による

例：中学年（リズムダンス）

軽快なロックやサンバなどのリズムの特徴を捉え、リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と関わったりして**即興的に踊ること**。

体育の授業としてリズムダンスの学習をし、その最終として運動会で発表するのは**OK**

決まった曲で示された振り付けを運動会で披露するのは**NO**

体育でカウントしてもよいが標準授業
時数として考えておくのは難しい

運動会と体育の関係

★運動会で踊るダンスを体育でとっていいのか？

△扱い方による

例：高学年（表現）

「激しい感じの題材」…火山の爆発、ロボットが壊れた等
「群（集団）が生きる題材」…祭り等

いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に表現したり、グループで簡単なひとまとまりの動きにして表現したりする。

表現は曲調を転換して、ひと流れ、ひとまとまりにするので、より難しいように思います。その指導内容をクリアし、最終として運動会で発表するのはOK

体育でカウントしてもよいが標準授業
時数として考えておくのは難しい

今日の講義内容

・体育科年間指導計画

・**学校における体育経営**

～体育主任としての心がけ～

・領域別の系統性について

～学習指導要領より～

体育主任とは

主として、**学校全体の体育指導**やそれに関わる**計画**、**自校の子どもの体力向上への取組**、**体育的行事等の校務**を、校務をつかさどる校長の計画により分掌された主任

体育主任の業務内容

【指導に関する業務】

・指導方針の策定

・指導内容の決定

・施設・用具の管理

・評価規準の策定

・教材の選定

・体育関連の図書管理

・学校体育経営計画の策定

・体力調査結果分析と取組の計画

・体操・水泳・陸上の練習計画

一教科の教科主任としてだけでなく、常に学校体育全体を見渡す広い視野が求められる。教科に関することはもちろんのこと、学校教育活動全体を通じた体育・スポーツ的諸活動の指導や子どもたちの体力向上への取組の中心となり活動することが大切。

記録の整理・管理

施設等

実施

・事故防止の情報提供

体育主任の役割と業務の年間スケジュール例

体育主任一年の流れ

※毎月遊具、器械・器具の点検

【4月】

- ・体育科年間指導計画、指導内容の確認、評価に関する申し合わせ
- ・体育館・運動場の割当ての提案
- ・体育館・運動場の遊び方の約束の提案
- ・集団行動に関する約束事等の提案
- ・体育委員会での内容検討
- ・体力向上計画の作成
- ・体力調査実施計画・実施



体育主任一年の流れ

【5月】

- ・水泳指導計画の提案(プール清掃、安全管理)
- ・(体操発表会に向けての準備)

【6月】

- ・水泳指導の実施(実施の判断、ろ過器の管理)
- ・(市水泳能力検定会に向けての準備)
- ・雨の日の遊びの決まり

【7・8月】

- ・プールの水質検査とプール管理
- ・体力調査結果提出
- ・運動会実施計画立案



体育主任一年の流れ

【9月】

- ・市陸上運動記録会の準備
- ・運動会の練習準備

【1・2月】

- ・体力向上計画評価
- ・体力調査の確認
- ・来年度の備品購入希望

【3月】

- ・年間指導計画の修正
- ・業務の引継



体育主任として意識してほしいこと

(1) 安全管理(職員全体に危険な行為を周知し、事前に児童に説明してもらう)

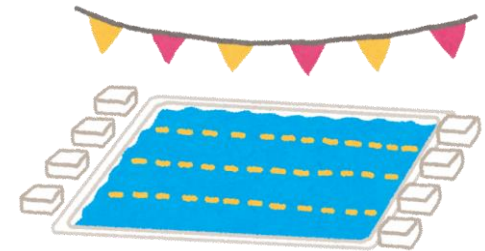
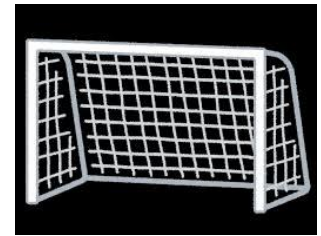
サッカーゴールの固定(ゴールにぶら下がることは許さない)、ネット倒れる、
整備用具

プールの底の排水口に近寄らない(ネジ等で必ず固定)

固形の塩素使用の場合はさわらない

マットトラックは教師が運ぶ

セーフティマットの運び方



体育主任として意識してほしいこと

予想されるケガ

跳び箱・・・台上前転の回転不足(首)や方向のずれで落下
かかえ込み跳びの足が跳び箱につまり顔から落下
開脚跳びの勢いが強すぎで着地に失敗

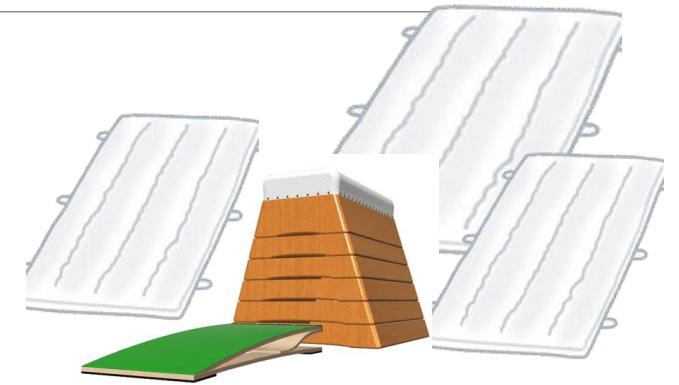
※適切な助走距離とロイター版の位置、跳び箱の両サイドにもマットを敷く

想定されるケガを意識し、適切な補助を行う

マット・・・ロングマットの耳を下に入れて、足を引っかけないように

マットにつまずいて転ぶ

倒立の練習の場でひじを曲げて頭から落ちる



体育主任として意識してほしいこと

予想されるケガ

高跳び・・・ゴムに引っかかりバーが倒れてくる(バーを持つ)

セーフティマットの横にもマットを敷く

ハードル・・・ハードルに脚を打ち転ぶ

ハードル持ち運び時に指を挟む

ボール・・・突き指

**防げる事故やケガは防ぐ
(事前に手を打っておく)**



体育主任として意識してほしいこと

(2) 先生方が体育を行いやすいように

児童が準備や片付けがしやすいように

新体カテスト時のライン引き、必要な用具の保管場所

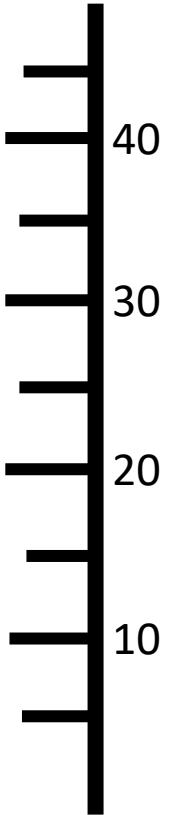
(50m走、ソフトボール投げ等)

用具の保管場所を決めておき掲示(ユニバーサルデザイン)

運動会後の片付けの場所も分かるように

器械運動系の場合は同時期に実施するか、各学年の実施時期を把握しておき準備しやすいようにしておく

ハードル走実施時は学年によってインターバルが異なるので、基準のラインを引いておく
運動会練習時期のライン引き、放送設備、用具の用意片付け



体育主任として意識してほしいこと

(3) 授業中の原則

太陽の位置を意識した集合場所

移動、話を聞く際のルールの徹底

(その場で座る、先生の近くに座る、集合の隊形に座る)

(移動はかけ足、話している間は聞く、質問は最後に)

動き方や待つ場所も示す(ケンステップ、フープ、コーン)

黒板を使ったためあてや授業の流れ、場の設定、やくそくの共有



今日の講義内容

- ・体育科年間指導計画
- ・学校における体育経営

～体育主任としての心がけ～

- ・**領域別の系統性について**

～学習指導要領より～

領域別の系統性について～学習指導要領より～

A体づくり運動系「知識及び技能」

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
体ほぐしの運動遊び	○次の運動を通して、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすること・伸び伸びとした動作で新聞紙やテープ、ボール、なわ、体操棒、フープなど、 操作しやすい 用具などを用いた運動遊びを行うこと・リズムに乗って、心が弾むような動作で運動遊びを行うこと・動作や人数などの条件を変えて、歩いたり走ったりする運動遊びを行うこと・伝承遊びや集団による運動遊びを行うこと	体ほぐしの運動 ○次の運動を通して、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすること・伸び伸びとした動作でボール、なわ、体操棒、フープなどの用具を用いた運動を行うこと・リズムに乗って、心が弾むような動作での運動を行うこと・動作や人数などの条件を変えて、歩いたり走ったりする運動を行うこと・伝承遊びや集団による運動を行うこと	○次の運動を通して、心と体との 関係 に気付いたり、 仲間 と関わり合ったりすること・伸び伸びとした動作で全身を動かしたり、ボール、なわ、体操棒、フープなどの用具を用いた運動を行ったりすること・リズムに乗って、心が弾むような動作での運動を行うこと・ ペア になって背中合わせに座り、体を前後左右に揺らし、 リラックスできる運動 を行うこと・動作や人数などの条件を変えて、歩いたり走ったりする運動を行うこと・ グループ や 学級の仲間と力を合わせて挑戦する運動 を行うこと・伝承遊びや集団による運動を行うこと

領域別の系統性について～学習指導要領より～

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
多様な動きをつくる運動遊び	<p>[体のバランスをとる運動遊び] ○回るなどの動き ○寝転ぶ, 起きるなどの動き ○座る, 立つなどの動き ○体のバランスを保つ動き</p> <p>[体を移動する運動遊び] ○這う, 歩く, 走るなどの動き ○跳ぶ, はねるなどの動き ○一定の速さでのかけ足 (2～3分)</p> <p>[用具を操作する運動遊び] ○用具をつかむ, 持つ, 降ろす, 回す, 転がすなどの動き ○用具をくぐるなどの動き ○用具を運ぶなどの動き ○用具を投げる, 捕るなどの動き ○用具を跳ぶなどの動き ○用具に乗るなどの動き</p> <p>[力試しの運動遊び] ○人を押す, 引く動きや 力比べをするなどの動き ○人を運ぶ, 支えるなどの動き</p>	<p>多様な動きをつくる運動</p> <p>[体のバランスをとる運動] ○回るなどの動き ○寝転ぶ, 起きるなどの動き ○座る, 立つなどの動き ○渡るなどの動き ○体のバランスを保つ動き</p> <p>[体を移動する運動] ○這う, 歩く, 走るなどの動き ○跳ぶ, はねるなどの動き ○登る, 下りるなどの動き ○一定の速さでのかけ足 (3～4分)</p> <p>[用具を操作する運動] ○用具をつかむ, 持つ, 降ろす, 回す, 転がすなどの動き ○用具をくぐる, 運ぶなどの動き ○用具を投げる, 捕る, 振るなどの動き ○用具を跳ぶなどの動き ○用具に乗るなどの動き</p> <p>[力試しの運動] ○人を押す, 引く動きや 力比べをするなどの動き ○人を運ぶ, 支えるなどの動き [基本的な動きを組み合わせる運動] ○バランスをとりながら移動するなどの動き ○用具を操作しながら移動するなどの動き</p>	<p>体の動きを高める運動</p> <p>[体の柔らかさを高めるための運動] ○徒手での運動・体の各部位を大きく広げたり曲げたりする姿勢を維持する・全身や各部位を振ったり, 回したり, ねじったりする ○用具などを用いた運動・ゴムひもを張りめぐらせて作った空間や, 棒の下や輪の中をくぐり抜ける</p> <p>[巧みな動きを高めるための運動] ○人や物の動き, 場の状況に対応した運動・長座の姿勢で座り, 足を開いたり閉じたりする相手の動きに応じ, 開脚や閉脚を繰り返しながら跳ぶ・マーカーをタッチしながら, 素早く往復走をする ○用具などを用いた運動・短なわや長なわを用いているいろいろな跳び方をしたり, なわ跳びをしながらボールを操作したりする・フープを転がし, 回転しているフープの中をくぐり抜けたり, 跳び越したりする</p> <p>[力強い動きを高めるための運動] ○人や物の重さなどを用いた運動・二人組, 三人組で互いに持ち上げる, 運ぶなどの運動をする</p> <p>[動きを持続する能力を高めるための運動] ○時間やコースを決めて行う全身運動・短なわ, 長なわを用いての跳躍やエアロビクスなどの全身運動を続ける・無理のない速さで5～6分程度の持久走をする</p>

領域別の系統性について～学習指導要領より～

A体づくり運動系「思考力、判断力、表現力等」

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
体づくり運動系	体をほぐしたり多様な動きをつくったりする遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝える	自己の課題を見つけ、その解決のための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝える	自己の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える

領域別の系統性について～学習指導要領より～

A体づくり運動系「学びに向かう力、人間性等」

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
体づくり運動系	<ul style="list-style-type: none">・運動遊びに進んで取り組む・きまりを守り誰とでも仲よく運動をする・場の安全に気を付ける	<ul style="list-style-type: none">・運動に進んで取り組む・きまりを守り誰とでも仲よく運動をする・友達の考えを認める・場や用具の安全に気を付ける	<ul style="list-style-type: none">・運動に積極的に取り組む・約束を守り助け合って運動をする・仲間の考えや取組を認める・場や用具の安全に気を配る

領域別の系統性について～学習指導要領より～

陸上運動系「知識及び技能」

	第1学年及び第2学年		第3学年及び第4学年		第5学年及び第6学年
	走・跳の運動遊び		走・跳の運動		陸上運動
走の運動遊び	<p>○30～40m 程度のかけっこ・いろいろな形状の線上等を真っ直ぐに走ったり、蛇行して走ったりする</p> <p>○折り返しリレー遊び、低い障害物を用いてのリレー遊び・相手の手の平にタッチをしたり、バトンの受渡しをしたりして走る・いろいろな間隔に並べられた低い障害物を走り越える</p>	かけっこ・リレー	<p>○30～50m 程度のかけっこ・いろいろな走り出しの姿勢から、素早く走り始める・真っ直ぐ前を見て、腕を前後に大きく振って走る</p> <p>○周回リレー・走りながら、タイミングよくバトンの受渡しをする・コーナーの内側に体を軽く傾けて走る</p>	短距離走・リレー	<p>○40～60m 程度の短距離走・スタンディングスタートから、素早く走り始める・体を軽く前傾させて全力で走る</p> <p>○いろいろな距離でのリレー（一人が走る距離40～60m程度）・テークオーバーゾーン内で、減速の少ないバトンの受渡しをする</p>
		小型ハードル走	<p>○いろいろなリズムでの小型ハードル走・インターバルの距離や小型ハードルの高さに応じたいろいろなリズムで小型ハードルを走り越える</p> <p>○30～40m 程度の小型ハードル走・一定の間隔に並べられた小型ハードルを一定のリズムで走り越える</p>	ハードル走	<p>○40～50m程度のハードル走・第1ハードルを決めた足で踏み切って走り越える・スタートから最後まで、体のバランスをとりながら真っ直ぐ走る・インターバルを3歩または5歩で走る</p>

領域別の系統性について～学習指導要領より～

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
	走・跳の運動遊び	走・跳の運動	陸上運動
跳の運動遊び	<ul style="list-style-type: none"> ○幅跳び遊び <ul style="list-style-type: none"> ・助走を付けて片足でしっかり地面を蹴って前方に跳ぶ ○ケンパー跳び遊び・片足や両足で、いろいろな間隔に並べられた輪等を連続して前方に跳ぶ ○ゴム跳び遊び・助走を付けて片足でしっかり地面を蹴って上方に跳ぶ・片足や両足で連続して上方に跳ぶ 	幅跳び <ul style="list-style-type: none"> ○短い助走からの幅跳び <ul style="list-style-type: none"> ・5～7歩程度の助走から踏切り足を決めて前方に強く踏み切り、遠くへ跳ぶ ・膝を柔らかく曲げて、両足で着地する 	走り幅跳び <ul style="list-style-type: none"> ○リズムカルな助走からの走り幅跳び <ul style="list-style-type: none"> ・7～9歩程度のリズムカルな助走をする ・幅30～40cm程度の踏切りゾーンで力強く踏み切る ・かがみ跳びから両足で着地する
		高跳び <ul style="list-style-type: none"> ○短い助走からの高跳び <ul style="list-style-type: none"> ・3～5歩程度の短い助走から踏切り足を決めて上方に強く踏み切り、高く跳ぶ ・膝を柔らかく曲げて、足から着地する 	走り高跳び <ul style="list-style-type: none"> ○リズムカルな助走からの走り高跳び <ul style="list-style-type: none"> ・5～7歩程度のリズムカルな助走をする ・上体を起こして力強く踏み切る ・はさみ跳びで、足から着地する

領域別の系統性について～学習指導要領より～

D水泳運動系「知識及び技能」

	第1学年及び第2学年		第3学年及び第4学年			第5学年及び第6学年
水の中を移動する運動遊び	<ul style="list-style-type: none"> ○水につかっただの水かけっこ、まねっこ遊び ・水を手ですくって友達と水をかけ合う ・水につかっているいろいろな動物の真似をしながら歩く ○水につかっただの電車ごっこ、リレー遊び、鬼遊び ・自由に歩いたり走ったり、方向を変えたりする ・手で水をかきながら速く走る 	浮いて進む運動	<ul style="list-style-type: none"> ○け伸び ・プールの壁を力強く蹴りだした勢いで、体を一直線に伸ばした姿勢で進む ○初歩的な泳ぎ ・呼吸をしながら手や足を動かして進む ・ばた足泳ぎやかえる足泳ぎ 	姿勢を維持しながらの運動	クロール	<ul style="list-style-type: none"> ○25～50m程度を目安にしたクロール ・手を交互に前方に伸ばして水に入れ、かく ・リズムカルなばた足をする ・顔を横に上げて呼吸をする ○ゆったりとしたクロール ・両手を揃えた姿勢で片手ずつ大きく水をかく ・ゆっくりと動かすばた足をする
	もぐる・浮く運動遊び	<ul style="list-style-type: none"> ○水中でのじゃんけん、にらめっこ、石拾い ・水に顔をつけたり、もぐって目を開けたりする ・手や足を使っていろいろな姿勢でもぐる ○くらげ浮き、伏し浮き、大の字浮き ・壁や補助具につかまって浮く ・息を吸って止め、全身の力を抜いて浮く ○バブリングやボビング ・水中で息を止めたり吐いたりする ・跳び上がって息を吐いた後、すぐに吸ってまたもぐる 	もぐる・浮く運動	<ul style="list-style-type: none"> ○プールの底にタッチ、股ぐり、変身もぐり ・体の一部分をプールの底につける ・友達の股の下をぐり抜ける ・水の中でもぐった姿勢を変える ○背浮き、だるま浮き、変身浮き ・全身の力を抜いていろいろな浮き方をする ・ゆっくりと浮いた姿勢を変える ○簡単な浮き沈み ・だるま浮きの状態で、浮上する動きをする ・ボビングを連続して行う 	浮き沈みをしながらの運動	安全確保につながる運動
					平泳ぎ	<ul style="list-style-type: none"> ○25～50m程度を目安にした平泳ぎ ・両手を円を描くように左右に開き水をかく ・足の裏や脚の内側で水を挟み出すかえる足をする ・水をかきながら、顔を前に上げて呼吸をする ○ゆったりとした平泳ぎ ・キックの後に顎を引いた伏し浮きの姿勢を保つ

領域別の系統性について～学習指導要領より～

〔ボール運動系「知識及び技能」(◇:ボール操作◆:ボールを持たないときの動き)

		第1学年及び第2学年		第3学年及び第4学年		第5学年及び第6学年	
ボールゲーム	ボール操作	◇ねらったところに緩やかにボールを転がす, 投げる, 蹴る, 的に当てる, 得点する ◇相手コートに緩やかにボールを投げ入れたり, 捕ったりする ◇ボールを捕ったり止めたりする	ボール操作 ときの動き	ゴール型ゲーム	◇味方へのボールの手渡し, パス, シュート, ゴールへのボールの持ち込み ◆ボール保持時に体をゴールに向ける ◆ボール保持者と自分の間に守備者がいないように移動	ゴール型	◇近くにいるフリーの味方へのパス ◇相手に取られない位置でのドリブル ◇パスを受けてのシュート ◆ボール保持者と自分の間に守備者が入らない位置への移動 ◆得点しやすい場所への移動 ◆ボール保持者とゴールの間に体を入れた守備
	ときの動き	◆ボールが飛んだり, 転がったりしてくるコースへの移動 ◆ボールを操作できる位置への移動	ボール操作	ネット型ゲーム	◇いろいろな高さのボールを片手, 両手もしくは用具などではじいたり, 打ちつけたりする ◇相手コートから返球されたボールの片手, 両手, 用具での返球 ◆ボールの方向に体に向けること, もしくは, ボールの落下点や操作しやすい位置への移動	ネット型	◇自陣のコート(中央付近)から相手コートへのサービス ◇味方が受けやすいようにボールをつなぐ ◇片手, 両手, 用具を使っての相手コートへの返球 ◆ボールの方向に体に向けることとボール方向への素早い移動
鬼遊び		◆空いている場所を見つけて, 速く走ったり, 急に曲がったり, 身をかわしたりする ◆相手(鬼)のいない場所への移動, 駆け込み ◆少人数で連携して相手(鬼)をかわしたり, 走り抜けたりする ◆逃げる相手を追いかけてタッチしたり, マーク(タグやフラッグ)を取ったりする	ボールを持たないときの動き	ベースボール型ゲーム	◇ボールをフェアグラウンド内に蹴ったり打ったりする ◇投げる手と反対の足を一步前に踏み出してボールを投げる ◆向かってくるボールの正面への移動 ◆ベースに向かって全力で走り, 駆け抜けること	ベースボール型	◇止まったボール, 易しいボールをフェアグラウンド内に打つ ◇打球の捕球 ◇捕球する相手に向かったの投球 ◆打球方向への移動 ◆簡易化されたゲームにおける塁間の全力での走塁 ◆守備の隊形をとって得点を与えないようにする

領域別の系統性について～学習指導要領より～

F表現運動系「知識及び技能」

		第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
	題材の例	<ul style="list-style-type: none"> ・特徴が捉えやすく多様な感じを多く含む題材 ・特徴が捉えやすく速さに変化のある動きを多く含む題材 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活からの題材 ・空想の世界からの題材 	<ul style="list-style-type: none"> ・激しい感じの題材 ・群(集団)が生きる題材 ・多様な題材
表	ひと流れの動きで即興的に表現	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな題材の特徴や様子を捉え、高低の差や速さの変化のある全身の動きで即興的に踊る ・どこかに「大変だ!○○だ!」などの急変する場面を入れて簡単な話にして続けて踊る 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の主な特徴を捉え、動きに差を付けて誇張したり、表したい感じを2人組で対応する動きや対立する動きで変化を付けたりして、メリハリ(緩急・強弱)のあるひと流れの動きで即興的に踊る 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の特徴を捉えて、表したい感じやイメージを、動きに変化を付けたり繰り返したりして、メリハリ(緩急・強弱)のあるひと流れの動きにして即興的に踊る
現系	簡単なひとまとまりの動きで表現	/		<ul style="list-style-type: none"> ・表したい感じやイメージを「はじめーなかーおわり」の構成や群の動きを工夫して簡単なひとまとまりの動きで表現する
	発表の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・続けて踊る 	<ul style="list-style-type: none"> ・感じを込めて踊る 	<ul style="list-style-type: none"> ・感じを込めて通して踊る

領域別の系統性について～学習指導要領より～

F表現運動系「知識及び技能」

		第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
リズム系	リズムの例	・弾んで踊れるようなロックやサンバなどの軽快なリズム	・軽快なテンポやビートの強いロックのリズム ・陽気で小刻みなビートのサンバのリズム	
	リズムに乗って全身で即興的に踊る	・へそ(体幹部)を中心に軽快なリズムの音楽に乗って即興的に踊る。 ・友達と関わって踊る	・ロックやサンバなどのリズムの特徴を捉えて踊る・へそ(体幹部)を中心にリズムに乗って全身で即興的に踊る ・動きに変化を付けて踊る ・友達と関わり合って踊る	(加えて指導可)
	発表や交流	・友達と一緒に踊る	・踊りで交流する	
フォークダンス	踊りと特徴	(含めて指導可) ・軽快なリズムと易しいステップの繰り返しで構成される簡単なフォークダンス	(加えて指導可)	・日本の民踊よう:軽快なリズムの踊り, 力強い踊り ・外国のフォークダンス: シングルサークルで踊る 力強い踊り, パートナーチェンジのある軽快な踊り, 特徴的な隊形と構成の踊り
	発表や交流	・友達と一緒に踊る		・踊りで交流する

領域別の系統性について～学習指導要領より～

G保健「知識及び技能」

	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
保健領域	<p>ア 健康な生活について理解すること。</p> <p>(ア) 健康の状態は、主体の要因や周囲の環境の要因が関わっていること</p> <p>(イ) 運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活と体の清潔</p> <p>(ウ) 明るさの調節、換気などの生活環境</p>	<p>ア 体の発育・発達について理解すること。</p> <p>(ア) 年齢に伴う体の変化と個人差</p> <p>(イ) 思春期の体の変化・体つきの変化・初経、精通など</p> <p>(ウ) 異性への関心の芽生え</p> <p>(ウ) 体をよりよく発育・発達させるための生活</p>	<p>ア 心の発達及び不安や悩みへの対処について理解するとともに、簡単な対処をすること。</p> <p>(ア) 心の発達</p> <p>(イ) 心と体との密接な関係</p> <p>(ウ) 不安や悩みへの対処の知識及び技能</p>	<p>ア 病気の予防について理解すること。</p> <p>(ア) 病気の起こり方</p> <p>(イ) 病原体が主な要因となって起こる病気の予防・病原体が体に入るのを防ぐこと・病原体に対する体の抵抗力を高めること</p> <p>(ウ) 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防・適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること・口腔くの衛生を保つこと</p> <p>(エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康・健康を損なう原因</p> <p>(オ) 地域の保健に関わる様々な活動</p>
			<p>ア けがの防止に関する次の事項を理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。</p> <p>(ア) 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止・周囲の危険に気付くこと・的確な判断の下に安全に行動すること・環境を安全に整えること</p> <p>(イ) けがなどの簡単な手当の知識及び技能</p>	

- 各領域の指導内容を把握して指導計画を立てる
- 学年（発達段階）に応じた内容
- この後の「『器械運動領域』の系統性について考える」
では、活発な協議をお願いします



新年早々、ご静聴ありがとうございました
先生方にとってよい年となりますように…